

群馬県の農林水産業の概要

特徴・取組

群馬県は、県土の約3分の2を丘陵山岳地帯が占め、変化に富んだ地形をなしている。平坦地域では年間日照時間が長く、特に冬季には「からっ風」と呼ばれる北西の季節風が強く吹き、乾燥した天気が続く地域である。

利根川水系などの豊富な水資源や、大きな標高差の中に耕地が分布する等の恵まれた自然条件、大消費地に近いという有利な立地条件を活かし、多彩な農業が展開され、野菜や畜産（豚、生乳）などの産地となっている。

群馬県の産業構造は、製造業の割合が高く、高い技術力をもった企業が多い。県内の上位産業を生産額でみると、自動車製造業をはじめとする「輸送用機械器具製造業」の割合が最も高く、次いで「食料品製造業」となっている。

特産物のこんにゃくいもは、全国収穫量の95%を占め、群馬県の中山間地域における基幹作物となっており、関連産業（製粉、加工、流通）も含め、地域経済に大きな役割を果たしている。また、キャベツ（嬬恋村など）、ほうれんそう（東部・利根沼田地域）の収穫量が全国1位、きゅうり（中部・東部の平坦地域）の収穫量は全国2位となっている。

畜産は、乳用牛・豚のいずれも飼養頭数が全国で5位以内に入るほど盛んである。

花き（バラ、カーネーション（鉢物）等）は、平坦地から中山間地まで、地域の特性に応じた品目の栽培に取り組んでいる。

輸出では、和牛が、ヨーロッパ、アジア、アメリカ等多くの国・地域に輸出されている。こんにゃく製品は、近年、健康志向の高まりを受け、各国・地域への輸出が伸びている。

県農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画2021-2025」に基づき、基本目標「未来へ紡ぐ！豊かで成長し続ける農業・農村の確立」に向けて、成長産業として農業の持続的な発展を促進する「産業政策」と、農業・農村の有する多面的機能の発揮や農村の持続的な発展を促進する「地域政策」を車の両輪として推進する。

本県の農業と農村が持つ可能性を最大限引き出し、未来に向けて農業者が元気に躍動し、持続的に発展することを目指す。

主な農林水産物

こんにゃくいも

群馬県の特産物で、収穫量は全国の95%を占めている。新商品の開発や輸出に積極的に取り組んでいる。（収穫量全国1位）



キャベツ

嬬恋村（つまごいむら）などを中心に栽培されており、収穫量は全国の20%を占めている。（収穫量全国1位）



きゅうり

県東部地域を中心に栽培されており、収穫量は全国の10%を占めている。（収穫量全国2位）



ほうれんそう

年間を通して晴天が多く、県内各地で施設・露地栽培が盛んである。（収穫量全国1位）



ねぎ

秋冬ねぎを中心に栽培されている。また、下仁田ねぎは県西部地域の特産品として栽培されている。（収穫量全国5位）



うめ

県西部の高崎市榛名地区、安中市秋間地区及び箕郷地区を中心に産地が形成されている。（収穫量全国2位）



生しいたけ

県西部地域を中心に菌床栽培や原木栽培が盛んに行われている。（生産量全国5位）



生乳

赤城山麓（県中部地域）を中心に乳用牛が飼養されており、全国有数の生産量を誇っている。（生産量全国4位）



豚

県中部、東部地域を中心に飼養され、全国有数の飼養頭数を誇っている。（飼養頭数全国4位）



繭

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録され、シルク製品が注目されている。（生産量全国1位）



群馬県内の各地域における農林水産物

吾妻（あがつま）地域

【農畜産物】キャベツ、こんにゃくいも、鶏卵、はくさい、べにばないんげん、えだまめ、スプレーギク、スイートコーン、なす、生乳
 【林産物】えのきたけ
 【水産物】にじます、いわな、やまめ

利根沼田地域

【農産物】りんご、こんにゃくいも、レタス、ふき、うど、トマト、えだまめ、ブルーベリー、ほうれんそう、シクラメン、水稻
 【林産物】生しいたけ
 【水産物】にじます、いわな、やまめ

東部地域

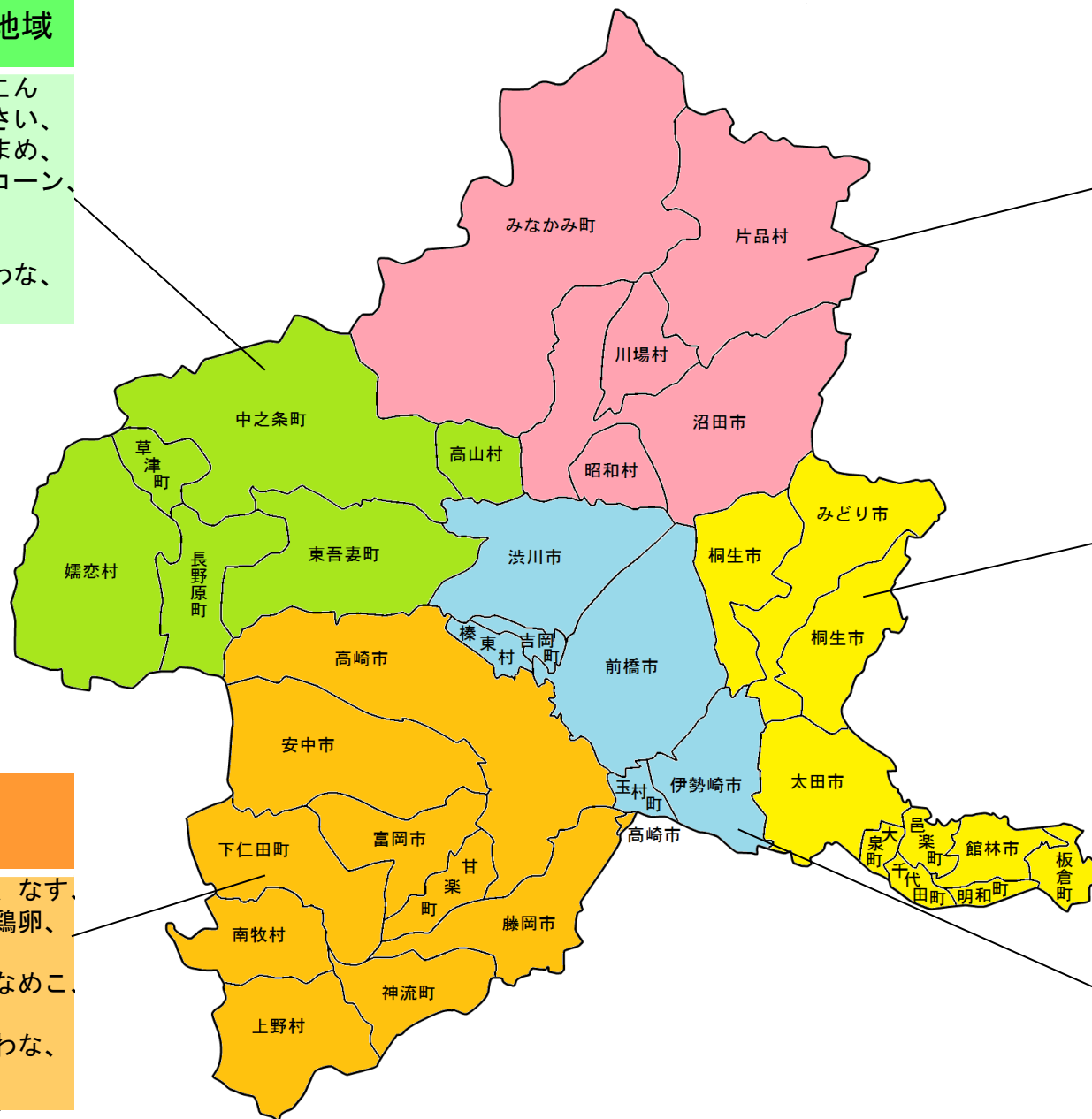
【農畜産物】きゅうり、なす、ねぎ、水稻、やまのいも、ほうれんそう、肉用牛、豚、はくさい、シクラメン、あじさい（鉢もの類）
 【林産物】生しいたけ
 【水産物】ふな、にじます、やまめ

西部地域

【農畜産物】うめ、ねぎ、なす、いちご、日本なし、繭、鶏卵、プラム、こんにゃくいも
 【林産物】生しいたけ、なめこ、まいたけ
 【水産物】にじます、いわな、やまめ、こい

中部地域

【農畜産物】豚、生乳、肉用牛、鶏卵、水稻、きゅうり、ほうれんそう、えだまめ、小麦、トマト、繭、バラ（切り花類）、ブルーベリー、こんにゃくいも
 【林産物】生しいたけ
 【水産物】こい、あゆ、にじます、やまめ



群馬県の農業（１）

- ・耕地面積は6万3,800haで全国19位。うち田が2万3,800ha、畑が4万100ha。
- ・農業経営体数は2万298経営体で全国25位。うち法人経営体が739経営体で13位。
- ・認定農業者数は4,689経営体で全国19位。うち法人数が684法人で16位。

耕地面積

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
耕地面積	63,800 ha	4,297,000 ha	19
田	23,800 ha	2,335,000 ha	32
畑	40,100 ha	1,962,000 ha	9
普通畑	36,200 ha	1,120,000 ha	5
樹園地	2,750 ha	253,500 ha	29
牧草地	1,110 ha	589,000 ha	16
参考）総土地面積	636,228 ha	37,797,539 ha	21

出典：「令和5年耕地面積（7月15日現在）」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	8,729 ha	253,217 ha	10

出典：「令和4年度の荒廃農地面積（令和5年3月31日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	27,519 ha	2,573,672 ha	22
集積率	42.4 %	59.5 %	22

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和4年度版）」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

- ・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
- ・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「－」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「×」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
農業経営体数	20,298 経営体	1,075,705 経営体	25
法人経営体	739 経営体	30,707 経営体	13
総農家数	42,275 戸	1,747,079 戸	17
販売農家	19,405 戸	1,027,892 戸	25
参考）世帯総数	805,252 世帯	55,830,154 世帯	17
集落営農数	116 集落営農	14,204 集落営農	32

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「令和5年集落営農実態調査結果（令和5年2月1日現在）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	27,832 人	1,363,038 人	23
男	16,773 人	822,144 人	23
女	11,059 人	540,894 人	23
65歳以上	19,060 人	948,621 人	24
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	68.5 %	69.6 %	－
認定農業者数	4,689 経営体	219,846 経営体	19
法人数	684 法人	28,720 法人	16
参考）総人口数	1,939,110 人	126,146,099 人	18

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和5年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

群馬県の農業（ 2 ）

- ・農業産出額は2,473億円で全国12位。うち米が126億円（5.1%）、野菜が892億円（36.1%）、畜産が1,215億円（49.1%）。
- ・農畜産物の生産状況は、こんにゃくいも、キャベツ、ほうれんそう、蒭が全国1位、きゅうり、ふき、うめが2位、豚、生乳が4位。
- ・農業生産関連事業は、農産物直売所の年間販売（売上）金額が335億円で全国10位、事業体数は920事業体で5位。

農業産出額

区 分	群馬県	全国	全国順位
農業産出額	2,473 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	12
米	126 億円 (5.1)	13,946 億円 (15.5)	35
麦類	17 億円	647 億円	5 *
雑穀	1 億円	83 億円	14
豆類	3 億円	715 億円	25
いも類	7 億円	2,199 億円	26
野菜	892 億円 (36.1)	22,298 億円 (24.8)	6
果実	72 億円 (2.9)	9,232 億円 (10.3)	29
花き	55 億円	3,493 億円	21
工芸農作物	69 億円	1,551 億円	6
その他作物	13 億円	607 億円	13 *
畜産	1,215 億円 (49.1)	34,678 億円 (38.5)	9
肉用牛	183 億円	8,257 億円	11
乳用牛	250 億円	9,013 億円	4
生乳	219 億円	7,916 億円	6
豚	481 億円	6,713 億円	4
鶏	287 億円	9,716 億円	13
鶏卵	231 億円	5,638 億円	9
ブロイラー	44 億円	3,940 億円	17 *
その他畜産物	13 億円	979 億円	5
加工農産物	1 億円	565 億円	34

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分	年次	群馬県	全 国	全国順位
こんにゃくいも	収穫量	R5 48,500 t	50,900 t	1
ねぎ	収穫量	R4 18,200 t	442,500 t	5
キャベツ	収穫量	R4 284,500 t	1,458,000 t	1
きゅうり	収穫量	R4 55,800 t	548,600 t	2
ほうれんそう	収穫量	R4 22,300 t	209,800 t	1
ふき	収穫量	R4 902 t	7,680 t	2
うめ	収穫量	R5 5,520 t	95,500 t	2
豚	飼養頭数	R5 593,700 頭	8,956,000 頭	4
生乳	生産量	R5 201,618 t	7,298,933 t	4
蒭	生産量	R5 18 t	45 t	1

出典：「特定作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「蚕糸業をめぐる事情 令和6年6月」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	群馬県	全 国	全国順位
農産加工	総額 30,610 百万円 事業体数 660 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	11 18
農産物直売所	総額 33,546 百万円 事業体数 920 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	10 5
観光農園	総額 1,539 百万円 経営体数 270 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	10 4
農家民宿	総額 250 百万円 経営体数 20 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	4 * 16 *
農家レストラン	総額 838 百万円 事業体数 20 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	16 * 18 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

群馬県の林業

- ・林業産出額は68.2億円で全国25位。うち木材生産が27.8億円、栽培きのこ類生産が40.3億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国26位、生しいたけが全国5位、まいたけが6位、なめこ、生きくらげ類が7位。

林業産出額

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
林業産出額	68.2 億円	5,806.6 億円	25
木材生産	27.8 億円	3,604.6 億円	26 *
栽培きのこ類生産	40.3 億円	2,079.5 億円	13

出典：「令和4年林業産出額」

林野面積

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
林野面積	409,098 ha	24,770,201 ha	21
国有林	178,537 ha	7,153,338 ha	9
民有林	230,561 ha	17,616,863 ha	31
人工林面積	176,816 ha	10,133,111 ha	25

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
林業経営体数	358 経営体	34,001 経営体	33
法人経営体	76 経営体	4,093 経営体	21

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
素材生産量	213 千m ³	22,082 千m ³	26 *
針葉樹	196 千m ³	20,386 千m ³	26
すぎ	145 千m ³	13,238 千m ³	23
からまつ	24 千m ³	1,932 千m ³	6
広葉樹	17 千m ³	1,696 千m ³	21 *
生しいたけ	生産量 3,664 t	69,532 t	5
なめこ	生産量 931 t	23,738 t	7 *
まいたけ	生産量 1,241 t	56,763 t	6 *
生きくらげ類	生産量 77 t	1,683 t	7 *

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
工場数	78 工場	3,804 工場	24
製材用素材の入荷があった工場数	77 工場	3,778 工場	24
国産材のみ	65 工場	3,054 工場	21
国産材と輸入材	12 工場	560 工場	21

出典：「令和4年木材需給報告書」

群馬県の漁業

- ・水産物の生産状況は、内水面漁業のふなが全国11位、内水面養殖業のにじますが8位。
- ・内水面漁業経営体は39経営体で、全国30位。

漁業産出額

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	… 億円	14,372 億円	－

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	… 経営体	79,067 経営体	－
内水面漁業経営体数	39 経営体	4,772 経営体	30

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	… 人	151,701 人	－
男	… 人	134,186 人	－
女	… 人	17,515 人	－

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
漁船隻数	… 隻	132,201 隻	－
動力漁船	… 隻	69,920 隻	－

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	… t	3,862,831 t	－ *
海面漁業漁獲量	… t	2,950,992 t	－
海面養殖業収獲量	… t	911,839 t	－ *
内水面漁業・養殖業生産量	308 t	54,115 t	24 *
内水面漁業漁獲量	2 t	22,612 t	38
ふな	2 t	339 t	11
内水面養殖業収獲量	306 t	31,503 t	15 *
にじます	170 t	4,462 t	8 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
水産加工	… 百万円	181,820 百万円	－ *
事業体数	… 事業体	1,460 事業体	－ *
水産物直売所	… 百万円	37,410 百万円	－ *
事業体数	… 事業体	840 事業体	－ *
漁家民宿	… 百万円	5,986 百万円	－ *
経営体数	… 経営体	740 経営体	－ *
漁家レストラン	… 百万円	11,598 百万円	－ *
事業体数	… 事業体	420 事業体	－ *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

群馬県の農林水産業の話題等（１）

「ほうれんそう」日本一

本県の野菜の重点品目である「ほうれんそう」が、農林水産省が公表する令和４年産「野菜生産出荷統計」において、出荷量３年連続日本一及び収穫量日本一位となっている。

県産ほうれんそうは、平坦地から中山間地まで各地に産地があり、標高差を活かした産地間のリレー栽培や、雨よけハウス等による周年栽培が行われ、雇用を導入した企業的な大規模経営体が育成されている。また、県内７農協で出荷規格等を統一した共計販売が行われ、大消費地である京浜市場をはじめ全国各地に出荷されている。

県では、栽培技術の指導やハウス施設・機械の導入を支援するとともに、ポスター等を活用した販売促進、産地紹介の動画を配信し、ＰＲ活動に取り組んでいる。

ぐんまAgri × NETSUGEN 共創事業

～ぐんまAgri × NETSUGEN 共創事業とは～

農業における課題解決を図ろうとする農業経営体等を募集し、斬新なアイデアを事業化するための実証試験のフィールド等を求めるスタートアップ企業をマッチングさせ、双方の課題解決と育成に官民共創で取り組んでいる。

目的・背景

（１）事業の目的

地域農業を支える認定農業者や農業法人などの「担い手」の支援（育成と課題解決）

（２）農業現場の課題

労働力確保、資材高騰、気候変動（高温、水不足）、労働環境の改善、経営の効率化、収益向上、有機農業の推進、農業の脱炭素化 等

事業概要

課題解決に資するスタートアップ企業等の革新的技術・サービスの実証を行い、「担い手」（農業経営体）へ成果を共有・横展開をすることで、販売金額向上に貢献、企業の経営体の育成（規模拡大）を図る。

取組①マッチング

農業経営体等に対する、企業紹介
企業等に対する産地案内等により、関係構築を支援

取組②実証事業

スタートアップ企業等の技術やサービスの効果検証
→ R5年度実績 スタートアップ企業等８事業者と県内農業経営体等が実証事業を実施



雨よけ施設栽培

農業 スタートアップ企業等

ぐんまAgri × NETSUGEN 共創事業

実証事業 成果発表会

TOWING	おてつたび
収量向上、化学肥料の削減 有機肥・バイオ炭の活用	短期的な労働力不足の解消 旅とお手伝いのマッチングサービス
サグリ	テラスマイル
肥料高騰で必要とされる農地土壌把握 衛星データを活用した解析技術	収穫時期の労務管理高度化 出荷傾向の可視化技術
輝翠TECH	NTTCom
収穫時期の労働力不足を解消 農業用ロボットの自動運転技術	「ぐんま」名産を「より多く」 ・「効率的に」生産する仕組みづくり
ミライ菜園	ジャングルデリバリー
病害虫被害を削減する 病害虫予測AI アプリケーション	有機オリーブ栽培の実証と 町の新名物を作る

開催日時 3月14日(木) 15:00～17:00
開催場所 NETSUGEN
▼お申込み
（現地定員：40名）
（オンライン配信あり）
【主催・お問い合わせ】
農業構造政策課
noukouka@pref.gunma.lg.jp

実証事業の成果発表会（令和６年３月１４日）

群馬県の農林水産業の話題等（２）

2町村がオーガニックビレッジ宣言

・甘楽町（令和5年10月20日）

甘楽町は令和5年度に町オーガニック推進協議会を設立し、令和6年度から5年間で有機農業の生産や流通、加工、消費を促進する実施計画を進める。計画には有機農業の経営体数や耕地面積、学校給食用の増加などを掲げる。

・高山村（令和6年2月23日）

高山村は令和5年6月に村有機農業産地づくり協議会を設立。栽培技術講習会の開催や学校給食に有機野菜を提供するなどの試行的な取組を行い、実施計画を12月に策定した。

栽培技術指導や新規就農者への支援などによって取組面積の拡大を図り、令和10年度には10ヘクタールまで拡大することを目指す。

群馬県立農林大学校 社会人コースに「有機農業専攻」を開設

群馬県立農林大学校では、令和5年度に開設した「ぐんま農業実践学校 有機農業コース」に続き、令和6年度からは、社会人コースに「有機農業専攻」を新設し、環境負荷低減や資源循環型農業の教育を強化する。この取組により、環境保全に配慮しつつ高付加価値化を目指す「新たな経営感覚を持った担い手」の育成を推進する。

「有機農業の日」にちなんで県産有機農産物をPR

12月8日の「有機農業の日」にちなんで、県産の有機農産物をPRする企画を県内各地で実施。農業の持続的発展につなげようと、有機農産物の生産や消費を後押しする。

県立特別支援学級9校では、県産有機農産物の米、野菜、しいたけなどを使用した学校給食が提供され、また、高山村（令和6年2月23日宣言）では、村内の農園が栽培する有機ビーツを使ったキーマカレーが販売された。

群馬のオーガニックマルシェ開催（令和6年2月16・17日）

群馬県は、環境に配慮した有機農産物の魅力を伝え、消費者の理解促進を図るため、JR高崎駅構内のイベントスペースで、有機JAS認証を取得した16の法人等が県内産の有機農産物や加工品を販売する「群馬のオーガニックマルシェ」を開催した。有機農産物を出品した生産者からは、「有機野菜を販売し消費者にアピールする場がまだまだ少ないため、こういった場があると助かる」といった声があり、販売ブースは購入者が途切れることなく賑わった。

群馬県

みどりの食料システム基本計画



令和5年3月

群馬県みどりの食料システム基本計画



マルシェの様子